

私たちの財産が増えました

55年度の財政事情を公表



市の財政事情を、みなさんによく知っていただくため市は、毎年、前期(10月～3月)と後期(4月～9月)に分けて、6月と12月に財政事情を公表しています。

今回は、昭和55年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、出納整理期間(5月31日までの2ヵ月間)がありますので、最終の決算額とは異なります。

昭和56年3月31日現在で、55年度
の予算額をみると、一般会計349億
6,850万円、特別会計92億2,384万
円、公営企業会計56億9,560万円、総
額498億8,794万円になりました。

一般会計を歳入と歳出に分けると、
収入済額は289億5,424万円で、予算
額に対し、82.8%の収入率となっ
ています。

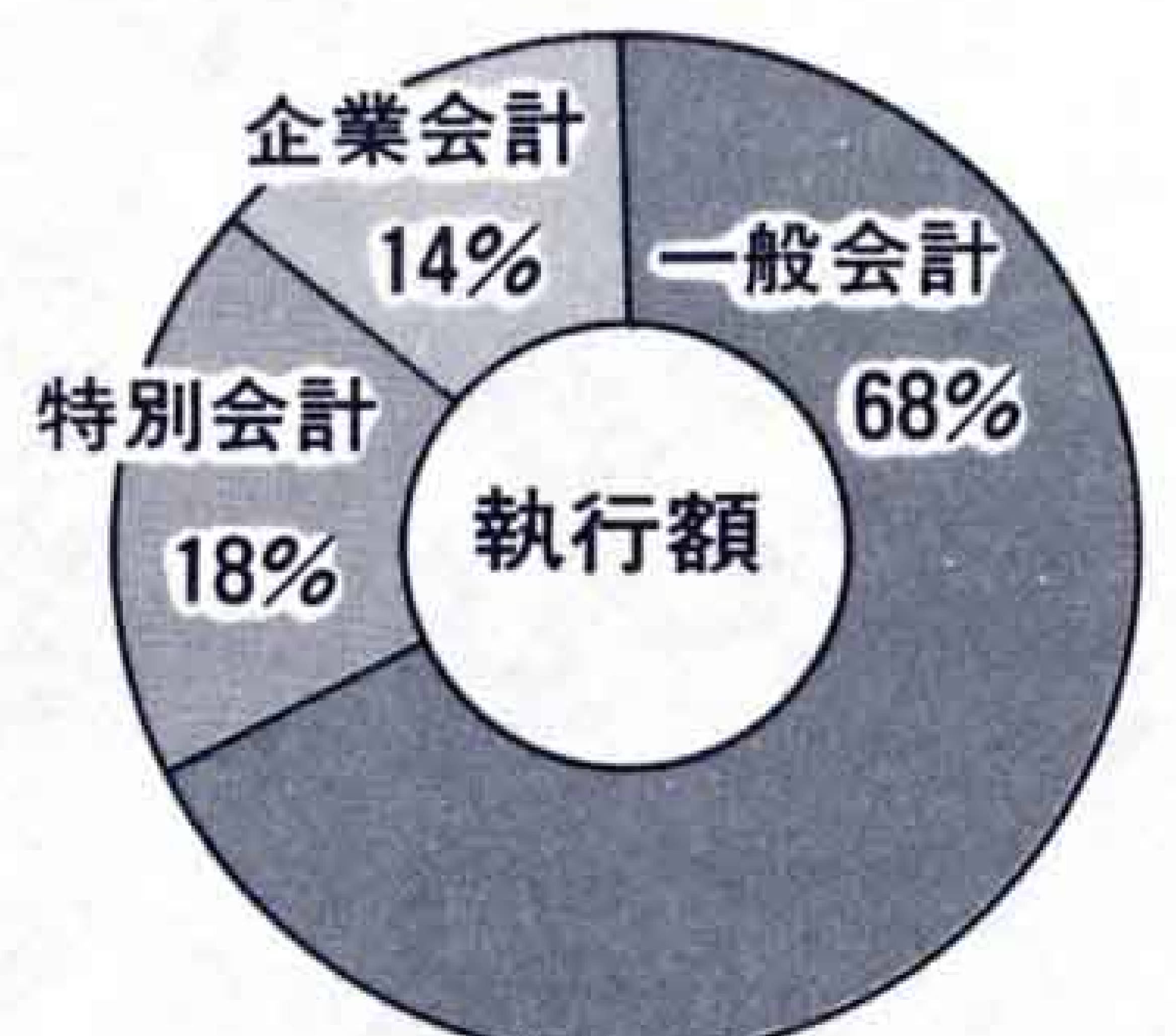
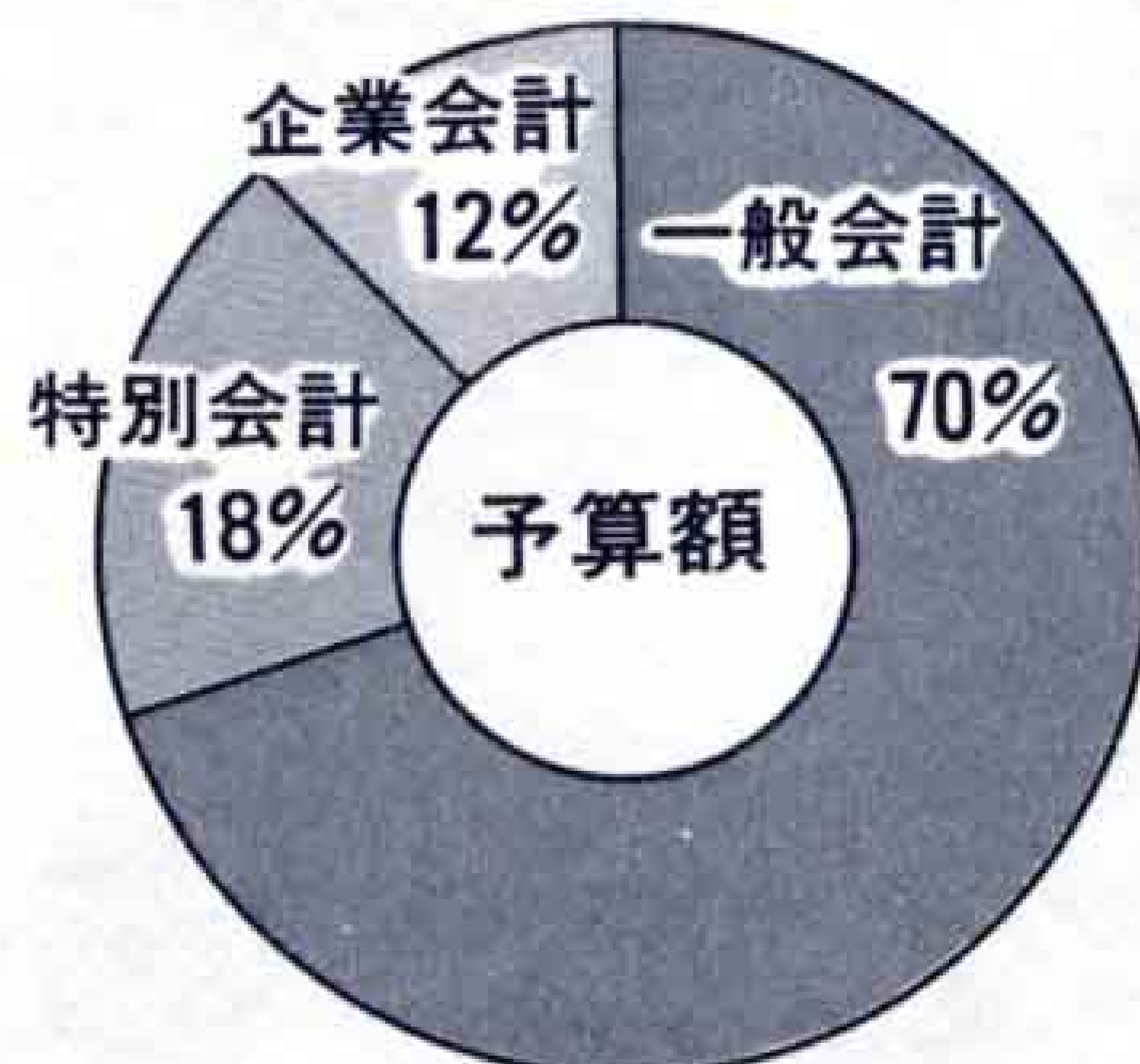
また、支出済額は295億4,511万
円で、予算額に対し、84.5%の執行率

です。

支出の内容をみると、道路建設や
河川改修などの土木費が79億8,337
万円で全体の23%、学校建設や博物
館建設などの教育費が59億5,262万
円で17%を占めています。

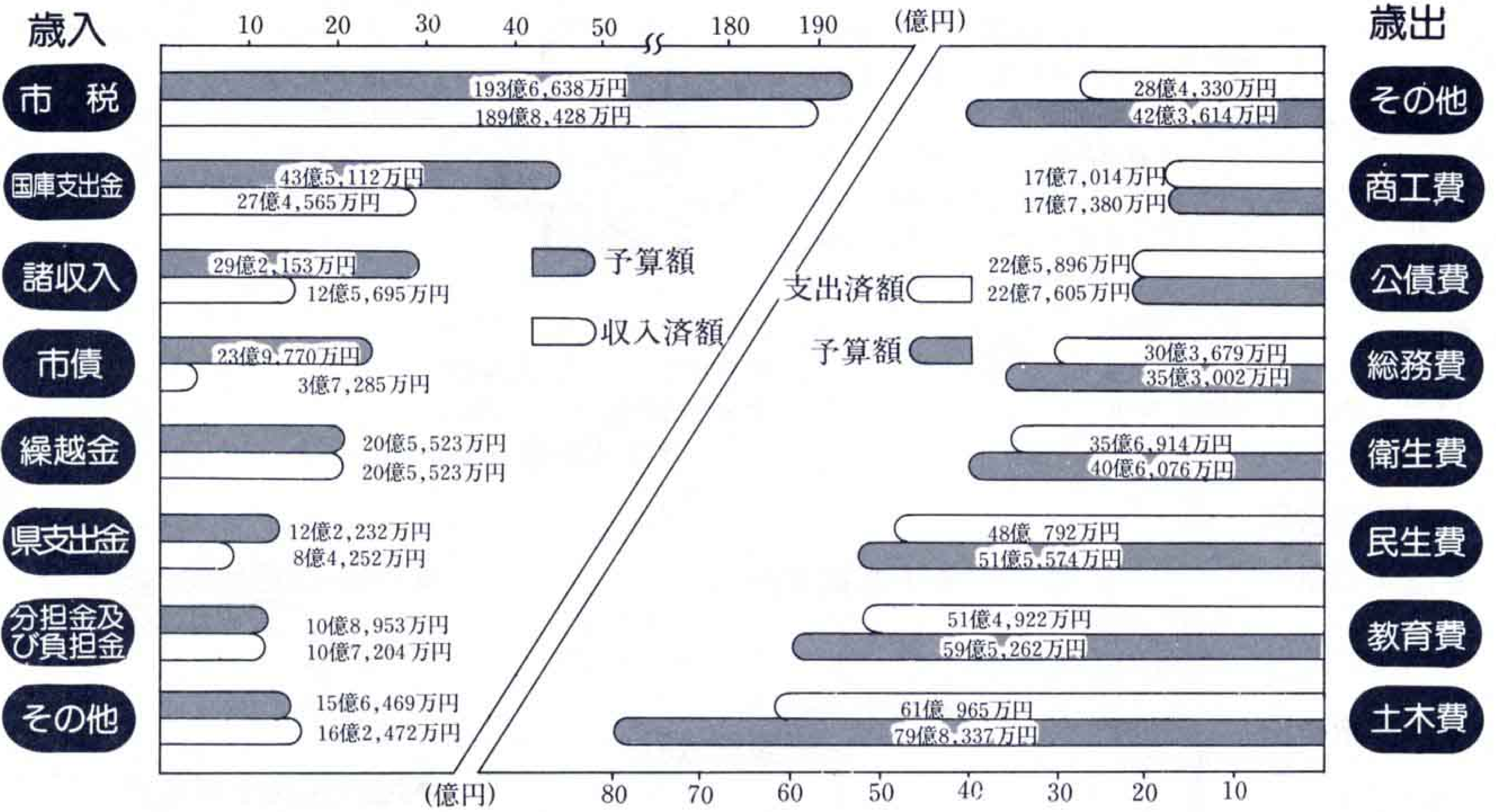
水道事業と病院事業の公営企業会
計は、水道事業会計が予算総額に対
し収入率100%、執行率98.8%、病院
事業会計が、収入率99%、執行率
98.5%となっています。

会計別予算額と執行額(歳出)の割合



- ① 博物館がオープン
- ② 鷹岡小体育館が完成
- ③ 吉原北中学校開校

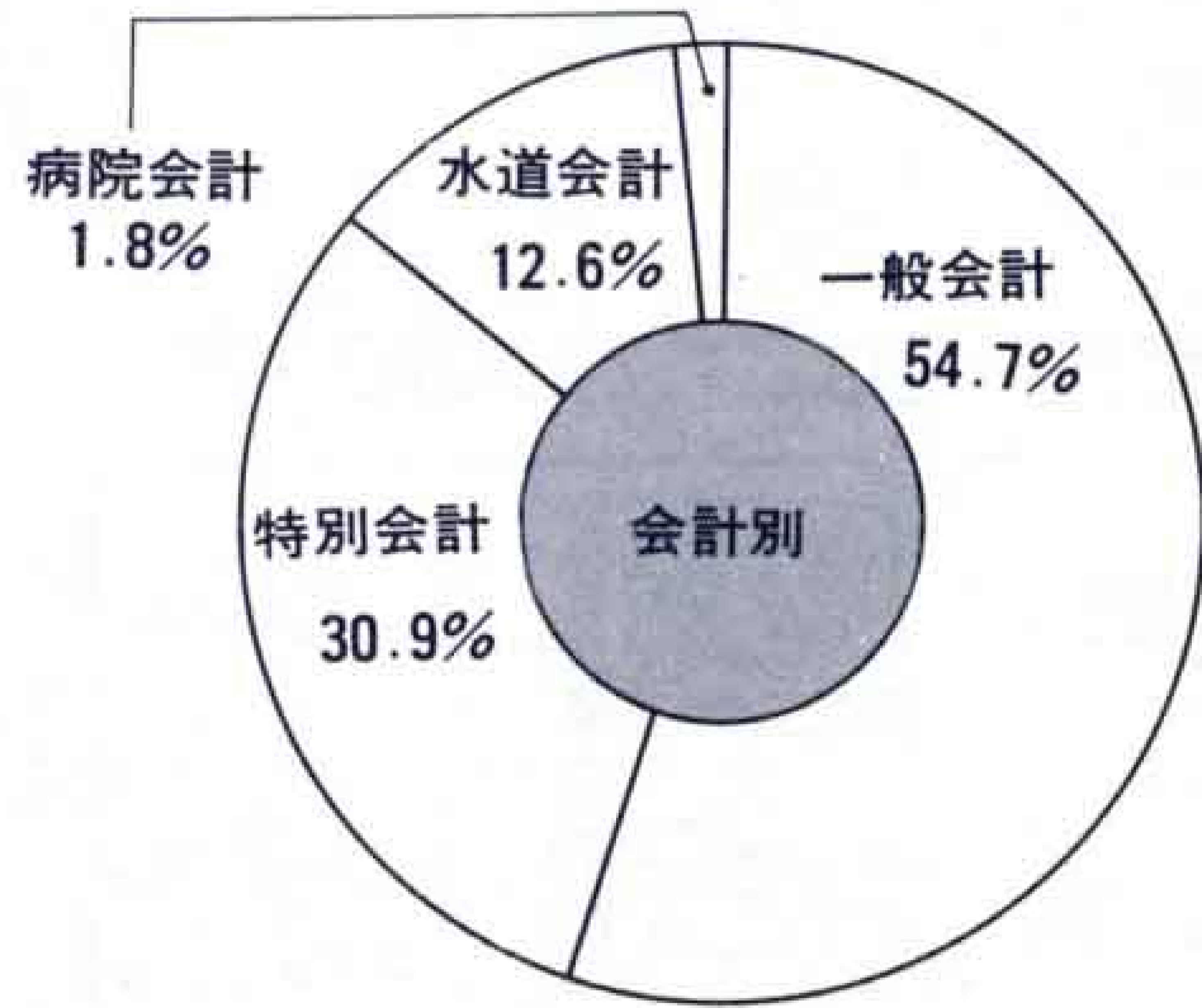
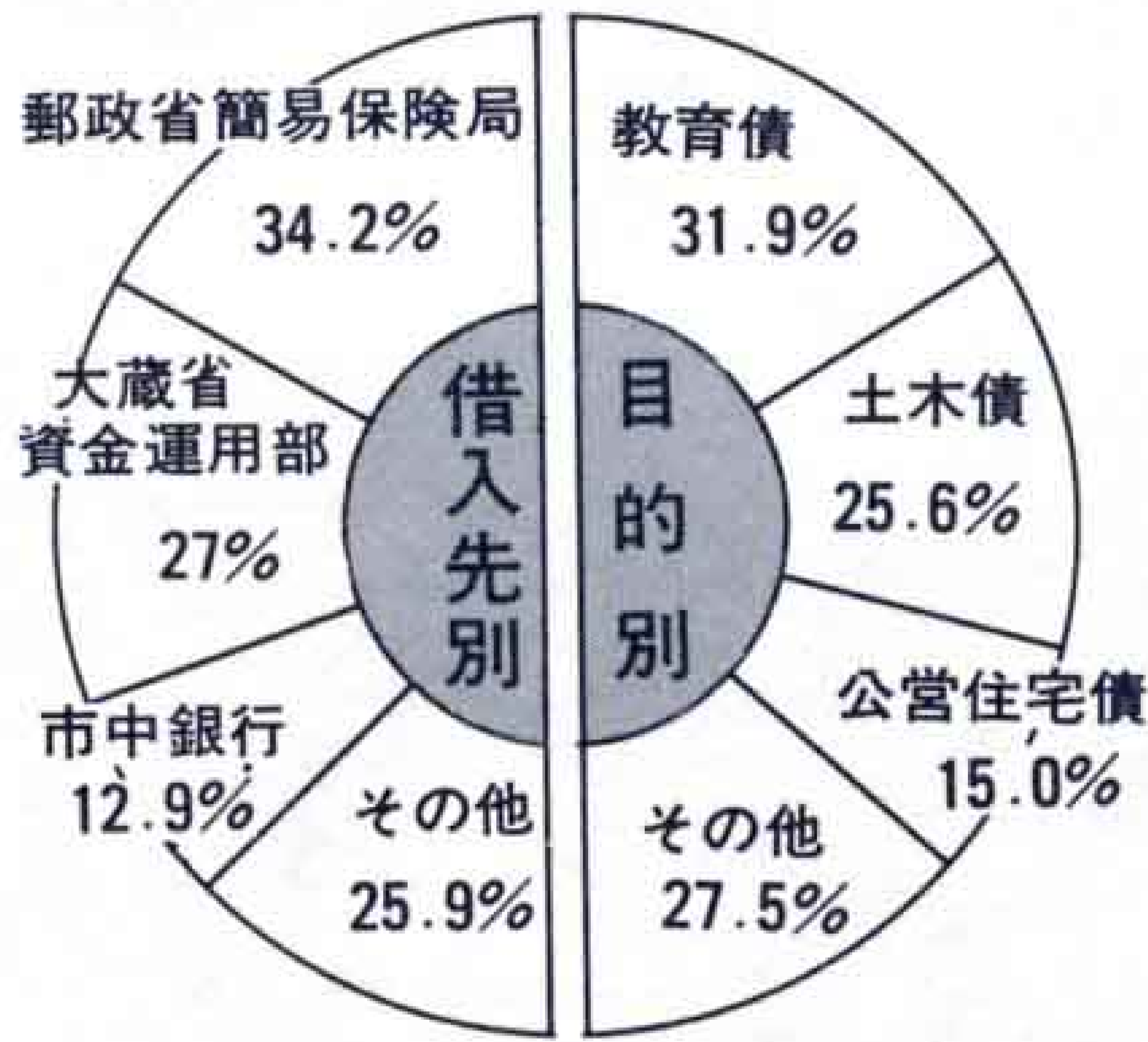
昭和55年度一般会計の歳入歳出予算及び執行状況



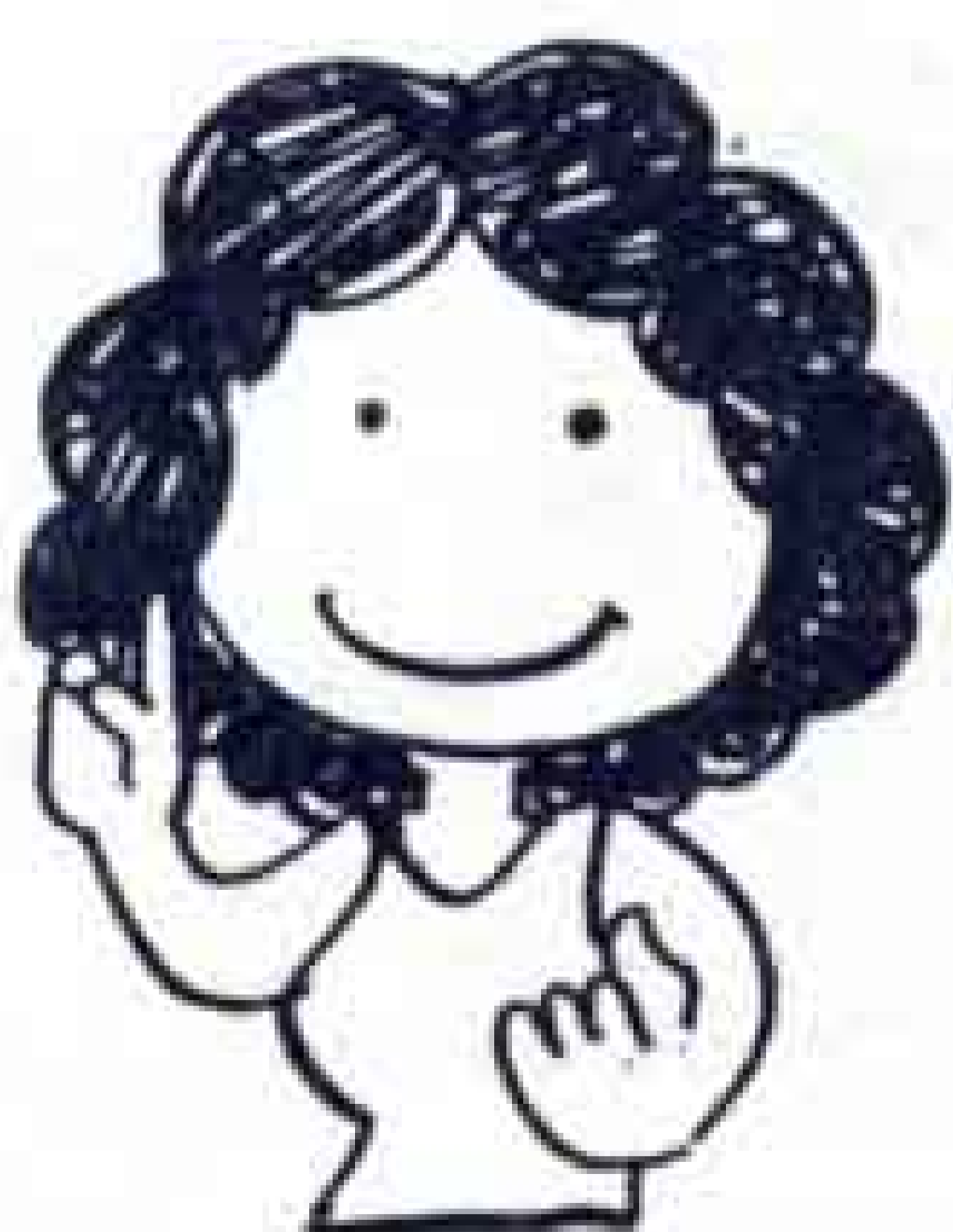
市債の状況

一般会計市債の状況 総額 172億6,153万円

市債 総額 356億8,247万円



☆ あなたの市税の負担額は (法人税を含む)



一人当り

9万2,648円



一世帯当り

33万3,058円

● おもな使いみち



市民一人当り14万361円
使いました。その主な使いみちは表のとおりです。

土木費	2万9,232円
民生費	2万4,637円
教育費	2万3,004円
衛生費	1万7,077円
総務費	1万4,530円
公債費	1万 808円
商工費	8,469円
その他	1万3,604円

公営企業(水道・病院)と特別会計の予算執行状況

☆水道事業



●収入合計	16億9,957円
営業収益	15億7,246円
営業外収益	1億2,674円
特別利益	37円
●支出合計	16億4,113円
営業費用	13億4,215円
営業外費用	2億9,898円
特別損失	0

総配水量 3,126万立方メートル
 1日平均 8万5,650立方メートル
 1日1人平均 474リットル
 (昭和55.4.1~56.3.31)

☆病院事業



●収入合計	33億8,469円
医業収益	30億1,022円
医業外収益	3億7,447円
●支出合計	33億6,790円
医業費用	32億9,324円
医業外費用	7,466円

入院患者 延べ 9万8,115人
 外来患者 20万5,878人
 外来1日平均 695人
 (昭和55.4.1~56.3.31)

☆特別会計

●国保会計

収入額 40億5,296万円
 支出済額 34億9,723万円

●依田原新田
区画整理会計

収入額 6億8,389万円
 支出済額 6億 167万円

●駐車場会計

収入額 6,464万円
 支出済額 5,895万円

●下水道会計

収入額 21億4,517万円
 支出済額 23億4,469万円

●富士中部
区画整理会計

収入額 5,244万円
 支出済額 4,249万円

●公共用地
先行取得会計

収入額 3億8,266万円
 支出済額 5億8,702万円

●青島・津田区画整理
清算金会計

収入額 209万円
 支出済額 209万円

●地方卸売市場会計

収入額 5億2,024万円
 支出済額 5億6,285万円

(財産管理などの特別会計は省略します。)

市有財産はこれだけあります

有価証券		2,410万円
土地		4713万7,709 平方メートル
建物 (延面積)		47万9,194 平方メートル
立木		15万8,125 立方メートル
車両		212台

●基金の現在高 10億7,975万円

基金の主なものは国保支払準備基金、土地開発基金、総合社会文化会館基金です。

